

第55回アジア医療勉強会

(オンデマンド配信)

期間：令和3年12月1日（水）～12月8日（水）

「これからの薬価政策について」

講師：紀平哲也先生

(厚生労働省保険局医療課 薬剤管理官)

現在、中医協では令和4年改定に向けて薬価基準の見直し等の議論が進んでいます。イノベータティブな医薬品の開発意欲を削ぐことなく適切な価格で市場導入を図ることに配慮しなければならないと同時に毎年薬価改定の意義の確認、特許が切れた医薬品の取り扱い、そして後発品の使用についても政策的拡大が求められています。

一方、後発品企業の相次ぐGMP違反などの不正発覚、そして後発品欠品問題など今後の行政対応が注目されています。

今回は、その政策的中心でご活躍の保険局医療課薬剤管理官の紀平哲也先生をお招きしてご講演をいただくことになりました。多くの会員の方のご参加を期待致します。

(MedPA 代表理事 西山正徳)



【ご略歴】

1995年に厚生省（当時）入省。

厚生労働省では、生活衛生局、薬務局（医薬食品局、医薬・生活衛生局）、保険局に在籍し、新薬の承認審査、薬価算定・調剤報酬、薬剤師・薬局関連施策等を担当。

そのほか、科学技術庁、国立医薬品食品衛生研究所医薬品医療機器審査センター、(独)医薬品医療機器総合機構

(PMDA)、米国食品医薬品局（FDA）、富山県へ出向。

2018年8月よりPMDA ワクチン等審査部長。

2020年8月より現職。

共催：Medical Platform Asia & iRIMS